

学校だより

とよおか

学び合い 磨き合い 挑戦する豊っ子



旭川市立豊岡小学校

第4号

令和7年7月23日



主体的に学び よく関わり 高め合う子どもの育成
～学び合い 磨き合い 挑戦する豊っ子～

校長 浅野 智子

湿度が高いじめじめとした日が続き、暑さ指数(WBGT)の数値によっては、グラウンドや体育館の使用を制限したり、午後の水泳学習を1・2時間目に移動させたりしながら、何とか安全に学校生活を送る工夫をした7月でした。教室中は快適ですが廊下や外の温度、湿度との差で体調が優れない子どももいます。暑くてもカラッとしていて、夕方には涼しくなるのが旭川の夏だったはずですが、寝苦しい日も増えてきています。温暖化という言葉が現実味を帯びるここ数年の夏です。

さて、8～9日には6年生の修学旅行が実施されました。5年生がプレゼントしてくれた巨大てるてる坊主の効果は抜群で、お天気に恵まれた2日間となりました。外での活動もあり、暑さ対策が一番の心配事でしたが、幸い体調を崩す子どももおらず、全日程を予定通り無事に終え、たくさんの学びを得て帰校しました。保護者の皆様の協力に感謝いたします。

6年生は、昨年の宿泊学習の振り返りから、生活の仕方、友達との関わり方、物事に対する取組の姿勢等、1年後の修学旅行も視野に成長の具体の姿をイメージしながら生活してきました。その過程で指導を受けることは多々ありましたが、担任含め関わる教員と子どもたちが目的意識をしっかりとって進んできたことが、他者へと意識を向けて生活できる姿となって現れていました。2日間共に行動するなかでは、時に難しい場面もありましたが、気持ちのよい挨拶、互いを思いやる言動等、頑張りが感じられる立派な姿でした。



とりわけ、時間を守る、時間を意識した行動をとることが、集団での生活を円滑に進める上で大きなポイントになります。今回の修学旅行中も5分前行動への意識が求められていました。少しくらい、自分たちだけならという考えが大きな集団での行動では大幅なタイムロスにつながることを実感したのではないのでしょうか。日常の学校生活でも、時間を意識した行動が求められ、登校時刻、授業の始まりや終わりの時刻、休み時間や給食時間等、細かいスケジュールに沿って活動が展開されます。やりたいことにもっと時間をかけたいという気持ちも分かりますが、決められた時間の中で集中して取り組む力は、とても大切であり、そういう経験の積み重ねで集中力が高まり、短い時間で最高のパフォーマンスを発揮できるようにもなります。学校では、1～6年生までが一斉に活動を行うために、チャイムを鳴らすことで時間の区切りを明確にしています。しかし、近い将来、効果的な学習を行うために、45分だけではなく、40分だったり60分だったりの授業を展開することも考えられています。そうすると、一斉のチャイムは、必要最小限に抑える必要があります。チャイムが鳴らなくても常に時間を意識して次の行動を始められるのが理想です。

明日からは、チャイムも時間割もない夏休みが始まります。時間をかけてじっくり物事に取り組むこともできますが、自分で立てた計画に沿って、自分の力で生活していくことが求められます。子どもたちが、これまでよりも少しでも時間を意識して生活できるよう、ご家庭での支援もよろしくお願いします。暑い日が続きますので、外で活動する際の熱中症対策と、たびたび地域の方からも情報をお寄せいただいている交通安全への声かけも併せてお願いします。

74日間の1学期の間、保護者の皆様はじめ、地域の皆様のお力もお借りしながら、本日終業式を迎えられましたことに感謝申し上げます。